

2023年度
自己点検・自己評価

学校法人 未来学園
高崎歯科衛生専門学校



1. 学校の教育目標

未来学園は医療、福祉分野に必要な専門的知識、技術、態度を養い、実践力を身につけると共に、人間愛を基礎とし、全人的なかかわりや援助、ケアが実践できる医療、福祉従事者を養成する。

教育方針に“**Learning Together Thinking Together**”を掲げ、教職員一同、医療、保健、福祉の発展のために学生と共に学び、共に考える教育を実践する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 教育活動

前年度同様に教育の質、学生サービスの向上を目的として、次の事項について重点的に教育活動を行った。

◇授業・実習内容の充実

- ・人間性教育・社会性教育の実践
- ・入学前教育プログラム・初年次教育の充実
- ・教育目標の明確化とキャリア教育
- ・国家試験対策

◇退学防止対策

◇教員研修の実施

◇教育設備・備品の更新と拡充

◇研修旅行の実施

- ・沖縄今帰仁村研修旅行

(2) 学生募集活動

少子化をはじめ医療福祉系進学希望者の減少等により、年々厳しさを増しているが、定員確保に向けて次の事項について重点的に募集活動を行った。

◇広報媒体の活用

- ・学校のブランディング（特設ページ制作 等）
- ・学校ホームページ、パンフレットの活用
- ・SNS（Instagram）の活用
- ・進学情報サイトの活用

◇学生アプローチの充実

- ・学校のブランディング（企画やノベルティ等の作成）
- ・高校（会場）ガイダンスへの参加
- ・オープンキャンパス企画の充実
- ・AO、オンライン、別会場入試の実施

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

- ・学生や保護者等の関係者に対する教育理念、育成人材像の周知徹底。
- ・変化する社会と進歩する歯科医療業界に対応できる人材像についての明確化。

② 今後の改善方策

- ・教職員一人ひとりが教育理念・目的を共有し、日々の教育活動の中で具現化していく。
- ・学生自身が卒業後の歯科衛生士人生をより明確に思い描けるよう、教育方針や育成人材像について、授業や実習をとおして繰り返し周知していく。
- ・変化する社会や業界のニーズを的確に把握し、これからの社会に必要とされる人材像を明確化する。
- ・広報活動において、教育理念や方針について積極的に発信していく。

③ 特記事項

特になし。

(2). 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

- ・学校運営における意思決定機能の更なる効率化、有効化のための組織づくり。
- ・教職員ソフトウェアにおける各種規則・規程掲載、共有化。

② 今後の改善方策

- ・教員から出る多様で建設的な意見の集約にかかる体制を整える。
- ・個人ではなく、学年・プロジェクトなど組織単位で業務を遂行する。
- ・各組織で具体的な目標を設定し、業務内容やプロセスを共有化する。
- ・定期的な勉強会・ミーティングを行い、評価・改善を行う。

③ 特記事項

特になし。

(3). 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
-------------------------	---	---	---	---

① 課題

- ・今年度より実施の新カリキュラムの評価と検証。
- ・より実践的な知識・技術を身に付けるためのICTの効果的な活用。

② 今後の改善方策

- ・業界動向を踏まえた教育内容を具体化するために、実習先医療機関との情報交換を積極的に進める。
- ・ICTの効果的な活用方法を検討し、実践していく。
- ・定期的な学内外研修とおして、教員の資質向上を図る。
- ・授業評価アンケートと授業参観後のフィードバックを有効に活用し、教員の指導力の向上と教育活動の充実を図る。
- ・専門教育に対する理解を深めるために、入学前教育や初年度教育の見直しを図る。

③ 特記事項

- ・今年度より本格的にICT教育を実施している。より有効な活用方法について検討するとともに教員のICT活用能力の向上を目指す。
- ・学内の教育機器等が刷新され、より質の高い教育を行うことができるようになった。
- ・新入生に対する学習や生活支援等の強化のため、入学前教育プログラムに登校日を設けた。成果を検証し、次年度への継続を検討していく。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

- ・国家試験合格率が全国平均を下回った。
- ・学生の退学率については、ほぼ変わらず例年通りである。
- ・同窓会などの組織がなく、卒業生の活躍状況を把握しきれていない。

② 今後の改善方策

- ・国家試験については、対策において効果の上がらなかった要因をしっかりと分析し、改善策を整える。
- ・国家試験対策用ソフトなども有効活用しながら、計画的・継続的な国家試験対策を進め、合格率の向上を図る。
- ・3学年を見通して、学年ごとの目標を設定し、学習の定着度を把握しながら、個に応じた支援をしていく。
- ・学生への声掛けや、保護者と連携しながら、生活と学業両面のきめ細やかなサポートを充実させることで退学者の減少を図る。
- ・卒業生の状況を把握するアンケートを実施するため、連絡の取れる仕組みを整える。
- ・来校する卒業生からの情報を蓄積していく。

③ 特記事項

- ・「沖縄今帰仁村研修旅行」は、民泊体験や海岸清掃ボランティア等、参加した学生自身が人間的な成長を実感できる内容であり、大変実りある研修であったことから、来年度も継続実施する予定である。

(5). 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

- ・本校は高等教育修学支援新制度の対象機関であり、経済的な支援体制は整っているが、僅かながら経済的理由で学業を継続できない学生もいる。
- ・心身ともに悩みを抱えた学生への教員の対応について。

② 今後の改善方策

- ・早期から学生生活を過ごしやすくできるように学習以外の相談に対応する。
- ・社会人のニーズを把握し、学びやすい環境を整備する。

③ 特記事項

特になし。

(6). 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

- ・さらなる教育効果や学生の満足度に繋がるよう、最新の施設・設備を最大限に活用できるように努めること。

② 今後の改善方策

- ・施設・設備の特長を最大限に引き出すための外部講師を招聘した職員研修や本校に合った最先端の活用事例などの情報を収集し、学内で迅速に共有する。

③ 特記事項

- ・新校舎の完成に併せて最新の施設・設備を導入することができた。
- ・ソフトウェアも含めて、技術の習得のための実技指導が、格段にわかりやすく伝わるようになった。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

① 課題

- ・少子化に伴う募集対象の減少。
- ・高校の進路指導における大学進学意識の高まり。
- ・より意欲の高い学生を獲得するための、今後の学生募集活動の在り方の検討。

② 今後の改善方策

- ・本校のコンセプトをもとに、外部に向けた広報活動の目玉となる特色について精選し、SNS等を活用しながら適宜発信し、より認知度を上げていく。
- ・募集対象の減少に対しては、県外へより積極的に募集活動エリアを拡げていく。
- ・長期的な取り組みとして、職業に対する理解を広めるために、小中学生対象のキャリア教育授業などを実施し歯科衛生士希望者の底辺拡大を図る。

③ 特記事項

特になし。

(8). 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

- ・財務情報公開の体制整備。

② 今後の改善方策

- ・長期的に安定した運営を行えるよう中長期的な経営計画を策定する。

③ 特記事項

特になし。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

- ・自己点検・評価の内容について具体的なフィードバックが不十分である。
- ・個人情報における適切な管理指導の更なる徹底。

② 今後の改善方策

- ・自己点検・評価内容について、学内で共通認識を持ち、課題の解決を行う組織体制を構築する。
- ・個人情報管理においては、情報機能の発達により日々進化や変化を遂げているため、最新の情報を入手しながら、管理指導の徹底を図る。

③ 特記事項

特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

- ・地域貢献やボランティア活動について、学校として推進、支援ができていない。
- ・ポストコロナ時代におけるボランティア活動の参加について考える必要がある。

② 今後の改善方策

- ・新校舎の完成に伴い、近隣住民や関係団体から学内施設の利用希望の声をいただいているので、積極的に開放していくことで地域貢献を推進していきたい。
- ・夏期休暇など学生の校舎利用のない期間で、高校生への啓発活動を含めたロビー開放等の利用の仕方を検討していきたい。
- ・ボランティア活動の意義について理解を深めさせ、興味をもたせることで、積極的に参加する学生を増やす。

③ 特記事項

- ・特になし。

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか	4	3	2	1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

- ・留学生は在籍していないが、今後に向けてのサポート体制は整えておきたい。

② 今後の改善方策

- ・留学生のサポートは、担当部署の留学生センター内に語学堪能な職員を配置している。
- ・国家試験や就職に向けて語学力の課題こそあるが、入学希望者を受け入れられるように体制の維持に努めたい。

③ 特記事項

- ・国際交流の一環でカンボジアにある日本語学校とのオンライン交流を行っている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

文部科学省から提示されている学校評価ガイドラインに沿い、自己点検・自己評価を実施した。学校運営を教育面、募集面、財務面等、様々な観点から見直すことができた。

教育活動については、本校コンセプトでもある「自分の力で社会に羽ばたいていくための芯を育てる」ことを実現するために、現在ある教育資源を最大限に活用することを目指した。

まず、今年度よりカリキュラムを一新した。社会や医療業界の最新のニーズを把握し、より現場で役立つための実践的な内容に変更した。校舎のリニューアルに伴い、最新の機器・設備が整い、タブレット等を活用したICT教育も本格導入された。複数のアプリを使用することで、視覚的な学びが広がり、知識や技術の習得が格段に向上した。学生が卒業後に即戦力として歯科医療現場で活躍することへの期待がもてることから、その期待や効果について当評価にも反映させている。今後も新カリキュラムの有効性の検証と併せて、ICTの効果的な活用方法について検討を重ね、学生の専門性と実践力を高めていくとともに、主体的な学びへと繋げて学習効果を上げていきたい。

資格取得においては、全国平均を下回る結果となったが、その要因を明確にし、今後に反映していきたい。また、3年間の学びの中で資格取得だけが目標とならないよう、キャリア教育にも力を入れ、歯科衛生士として働くことの魅力を前面に押し出して、社会貢献も含めて、働きがいや生きがいに触れさせたい。卒業生や外部講師との交流や学生同士や教員との交流を意図的・積極的に仕掛け、コミュニケーション能力を培いたい。卒業後の未来像を学生自身が思い描けるように、一人一人の学生に寄り添い、学生が抱える不安や悩みに早い段階から対応することで、退学率の減少にも取り組む。

募集活動については、少子化に伴い募集対象が減少し大学進学傾向が強まっているが、募集活動エリアを拡大させるとともに、本校の教育活動の質を高めることで、学校のブランド力を上げ、本校の特色をより明確にした外部発信をしていく。また地域に開かれた学校づくりについては、学校開放をとおして、歯科医療への理解の広がりを期待できるので、今後検討を要する。そして、より意欲の高い学生を獲得するために、今後の学生募集活動の在り方についても再検討していく。

歯科医療の現場は、時代の流れとともに、その必要性・重要性を増しつつある。今後の医療情勢を見極め、時代や現場のニーズに対応できる人材育成を目指したい。高い専門性と豊かな人間性をもち、自律した歯科衛生士を養成するために、今後も引続きガイドラインをもとに自己点検・自己評価を行い、明確になった課題について検討と改善を重ね、適正な学校運営を行っていきたい。

以上